

## 患者さんへ

### 「鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎に対する治療効果の後方視的検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2016年12月より2025年7月までに当院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で鼻茸*を伴う慢性副鼻腔炎を治療した方を対象としています。 *鼻茸は鼻の内側の粘膜がふくらみ、鼻腔内に垂れさがった状態をいいます。
2 研究目的・方法	鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の患者さんのうち、薬物治療および手術治療という標準的な治療を受けても再発を繰り返す患者さんを対象に、診療録の情報から治療後の症状経過や検査所見を検討することで、より適切な治療法の選択や疾患コントロールの改善につなげることを目的とします。 研究の期間:施設院長許可(2025年8月予定)後~2026年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、原疾患、既往症、併存疾患、術前・術後の検査所見(血液生化学的検査、内視鏡検査、嗅覚検査、画像検査、病理組織学的検査、鼻症状スコア、術後の経過(術式や再手術や生物学的製剤などの薬物治療等の追加治療、再発の有無)等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:札幌東徳洲会病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 駒林 優樹 住所:札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話番号:011-722-1110(代表)